



平成4年度指定 高指第71号

# 梶原 幸二

生年／昭和14年 指定技術名／銅器・焼型



らんりょうおう

## 蘭陵王

焼型鑄造・双型鑄造の伝統技法の他、各種の鑄造方案を熟知しており、これらの技法を基に一貫した製品づくりを行う。国内でも最大級のブロンズ像を数多く手掛け、その技術の高さは誰もが認める優れた技術者である。

平成6年作 素材・技法／青銅・ガス型鑄造 寸法／高さ230cm×幅180cm×奥行140cm

### [経歴]

- 昭和32年 学校卒業後、兄寿一のもとで焼型、双型、生型技術を習得。火鉢、瓶掛、仏具の製作を行う
- 昭和38年 梶原製作所の責任者となり数多くの大型製品を手掛ける
- 昭和43年 千葉県成田市新勝寺山門銅製大提灯製作
- 昭和51年 名古屋市舞鶴公園噴水製作
- 昭和61年 三重県大観音寺千手観音座像製作(高さ8m)
- 平成 2年 昭和天皇多摩御陵門扉製作
- 平成 5年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
- 平成 6年 広島県宮島口蘭陵王製作
- 平成 8年 広島県福山市真光寺白衣観音像製作(高さ7.5m)
- 平成11年 栃木県那須郡那須町みらく観音像製作(高さ23m)